

information

お知らせ

自殺対策計画(案)に  
対する  
パブリックコメントの  
検討結果

市では、1月21日～2月20日に、同計画(案)に対して、意見を募集しました。

このたび、寄せられた意見の検討結果およびその理由がまとまりましたので、お知らせ

せします。

■意見数・人数 3件・3人

■公開場所 自立生活支援課(市役所第二庁舎2階)、市役所第二庁舎1階受付、情報公開コーナー(同6階)、主な市内公共施設、市ホームページ

■自立生活支援課相談支援係 ☎042-387-9841

文化財センターからの  
お知らせ

■展示準備に伴う臨時休館

■期間 3月23日(月)～28日(土)

■季節展「名勝小金井桜」

委員  
募集

①まち・ひと・とくと創生  
総合戦略等推進委員会

急速な少子高齢化が進む中で、人口減少に歯止めをかけ、住みよい環境を確保し将来にわたって活力のある日本社会を維持するための同戦略等について、検討・審議します。

■定1人(選考)  
■対市内在住で令和2年4月1日現在18歳以上の方  
■任期 委嘱の日～令和4年3月31日(年5回程度開催)  
■申 4月15日(消印有効)までに、直接、郵送またはファクスで小論文(800字以内・課題Ⅱ「小金井が持続的に発展していくためのまちづくりについて」・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、企業政策企画政策係(〒184-8504住所不要・市役所本庁舎1階 ☎042-387-9806 FAX 042-387-6426)へ

■③地域自立支援協議会  
障がいのある方の地域での生活を支援するため、検討・

時 3月29日(日)～5月31日(日) 午前9時～午後4時30分

分所同センター内 小金井桜の歴史や花見文化をにじみ絵や古写真などで紹介

◆共通◆  
問同センター ☎042-383-1198

善意の輪

社会福祉協議会取扱分

◎1月分(敬称略)

■一般寄附

▽2万円(株イトーヨーカドー労働組合武蔵小金井支部▽3千10円(株イトーヨーカドー協議します。

■定1人(選考)

■対市内在住で20歳以上の方

■任期 5月1日～令和4年3月31日(年4回程度開催)  
■他委員は専門部会(年7回程度開催※無報酬)にも所属していただきます

■申 3月27日(必着)までに、直接、郵送またはファクスで、小論文(800字以内・課題Ⅱ「障がいのある人が地域で安心して暮らしていくために」・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、自立生活支援課障害福祉係(〒184-8504住所不要・市役所第二庁舎2階 ☎042-387-9848 FAX 042-384-2524)へ

◆共通◆

■報酬 1万円(1回)

■他▽市が設置する附属機関等の委員は、原則2つまで▽1

■③は小論文を返却します▽選考基準・方法、開催回数等詳細はお問い合わせください



労働組合 食品館中野支部▽2千340円(株イトーヨーカドー労働組合阿佐ヶ谷支部▽2千500円(株イトーヨーカドー労働組合食品館早稲田支部▽420円(ちよここと募金箱▽千588円(匿名

地域文庫の事業経費の一部を補助

図書活動を主な目的とした

事業で、令和2年度中に実施した対象事業に要する経費のうち、報償費(謝礼)、消耗品費、印刷製本費、役務費(通信運搬費)、使用料および賃借料に当たるものが対象です。

※政治、宗教および営利活動は補助対象外  
■申請資格 市内で活動する地域文庫  
■補助金額 予算の範囲内で対象経費の2分の1を上限  
問 図書館本館 ☎042-383-1138

公立学校運営  
連絡会委員を  
募集

同連絡会は、各校10人以上で、校長・副校長のほか、外部委員で構成します。そのうち、市民の皆さんから委員を募集します(緑小学校については、学校運営協議会を設置予定のため、別途お知らせします)。

■定 各学校2人以内  
■対市立小・中学校の通学区域内に居住している令和2年5月1日現在20歳以上の方

■他▽市が設置する附属機関等の委員は、原則2つまで▽1  
■③は小論文を返却します▽選考基準・方法、開催回数等詳細はお問い合わせください

学校名	所在地	電話番号
第一小学校	本町1-1-6	383-1141
第二小学校	桜町2-3-58	383-1142
第三小学校	梶野町5-7-1	383-1143
第四小学校	貫井南町3-9-1	383-1144
東小学校	東町4-25-6	383-1145
前原小学校	前原町3-4-22	383-1146
本町小学校	本町5-29-21	383-1147
南小学校	前原町2-2-1	383-1149
第一中学校	桜町2-3-15	383-1161
第二中学校	中町1-8-25	383-1162
東中学校	東町1-5-33	383-1163
緑中学校	緑町2-11-47	383-1164
南中学校	貫井南町1-26-1	383-1105

※表中、市外局番042を省略しています

うがねい未来通信



現在、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する重要な期間となっています。市では新型コロナウイルス対策本部を設置し、関係機関と連携のうえ、集中的対策に鋭意取り組んでいます。市民や事業者の皆様におかれましては、引き続き予防対策にご留意ください。

3月11日、甚大な被害が及んだ東日本大震災から9年を迎えました。阪神淡路大震災から25年、この間、各地で地震による大きな被害が発生しており、首都東京でも大地震の発生が危惧されています。また、気候変動に伴う異常気象が常態化し、台風等の風水害も全国で多発しています。

改めて、我が国は災害列島であることを認識しなければなりません。これまでの災害で示された教訓を風化させることなく、直面した課題を改善し、常に災害に備えることが極めて重要です。そして、市民の皆様は生命、身体、財産を守るためには、市と皆様とともに、防災意識と地域防災力を高めていかなければなりません。市では、地域防災の要である、消防団員を募集しています。「自分たちのまちは自分たちで守る」という意思のある方は、ぜひ持てる力をお貸しください。地震対策の中でも、耐震性を確保する建物対策は極めて重要です。都市部に甚大な被害が及んだ阪神淡路大震災では、建物の

倒壊に起因する死傷者が大きな割合を占めています。今年度より木造住宅の耐震診断や耐震改修への助成制度を拡充しました。来年度は同制度をさらに拡充するとともに、昭和56年以前に着工された住宅への耐震化の普及促進を図る取り組みを実施します。また、大阪北部地震の際に大きな課題となったブロック塀の安全対策として、避難路に面する倒壊の恐れのあるブロック塀の撤去費用を助成する制度も創設する方向です。

また、災害時の医療体制の確保も重要な課題です。昨年は、小金井太陽病院、桜町病院、小金井リハビリテーション病院と災害時における施設利用に関する協定を締結し、今年1月には、大規模災害時の傷病者の受け入れ体制の確保を目的として、武蔵野赤十字病院および小金井市医師会と災害医療に関する協定を締結しました。今後も災害時に備えた医療体制を拡充するとともに、各医療機関との緊密な連携を深めてまいります。

そのほかにも、災害時における自助・共助・公助の役割が発揮される取り組みを推進し、防災や減災対策、備蓄品の拡充や避難所の整備、地域防災計画の改定や防災拠点としての新庁舎建設に鋭意取り組んでまいります。

小金井市長

西岡真一郎